

令和元年 業種別死傷災害発生状況(令和元年12月末 速報版)

鹿児島労働局

	令和元年		平成30年		増減数	
	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業	1,840	15	1,760	13	80	2
1 製造業	352	2	332	1	20	1
1 食料品製造業	209	1	189		20	1
4 木材・木製品製造業	31		24		7	0
9 窯業土石製品製造業	14	1	21		-7	1
11~12 金属製品製造業	28		19		9	0
13~15 機械機具製造業	20		22		-2	0
上記以外の製造業	50		57	1	-7	-1
2 鉱業	2	0	5	0	-3	0
3 建設業	290	6	279	4	11	2
1 土木工事業	111	1	102	2	9	-1
2 建築工事業	145	4	149	2	-4	2
3 その他の建設業	34	1	28		6	1
4 運輸交通業	179	1	207	0	-28	1
1 鉄道・航空機業	6		8		-2	0
2 道路旅客運送業	5		23		-18	0
3 道路貨物運送業	167	1	175		-8	1
4 その他の運輸交通業	1		1		0	0
5 貨物取扱業	31	0	21	0	10	0
1 陸上貨物取扱業	7		9		-2	0
2 港湾運送業	24		12		12	0
6 農林業	92	2	80	3	12	-1
1 農業	41	1	36	2	5	-1
2 林業	51	1	44	1	7	0
7 畜産・水産業	96	0	87	1	9	-1
8 商業	257	1	235	0	22	1
1 卸売業	47	1	30		17	1
2 小売業	189		171		18	0
3 理美容業	2		3		-1	0
4 その他の商業	19		31		-12	0
9 金融・広告業	14	0	18	1	-4	-1
11 通信業	19	0	22	0	-3	0
12 教育・研究業	16	0	14	1	2	-1
13 保健衛生業	256	0	245	0	11	0
1 医療保健業	100		116		-16	0
2 社会福祉施設	154		123		31	0
3 その他の保健衛生業	2		6		-4	0
14 接客娯楽業	105	0	95	1	10	-1
1 旅館業	28		16		12	0
2 飲食店	51		45		6	0
3 その他の接客娯楽業	26		34	1	-8	-1
上記以外の事業	131	3	120	1	11	2
10 映画・演劇業	0		0		0	0
15 清掃・と畜業	76	2	65	1	11	1
16 官公署	2		2		0	0
17 その他の事業	53	1	53		0	1
陸上貨物運送事業(4-3・5-1)	174	1	184	0	-10	1
第三次産業(8~17)	798	4	749	4	49	0

- ① 死傷者数は、当月末までに発生した労働災害の被災者を翌月7日締めで集計したもの。
- ② 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上災害によるもので、死亡者を含みます。
- ③ 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。
- ④ 陸上貨物運送事業及び第三次産業は、別計。

令和元年12月末 業種別死傷災害発生状況（速報）

（事故の型別）

鹿児島労働局

業種	年	令和元年		平成30年 (同月末)		増減数		増減率	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業		1840	15	1760	13	80	2	4.5%	15.4%
1 製造業		352	2	332	1	20	1	6.0%	100.0%
1 食品製造業		209	1	189		20	1	10.6%	
4 木材・木製品製造業		31		24		7	0	29.2%	
9 窯業土石製品製造業		14	1	21		-7	1	-33.3%	
11～12 金属製品製造業		28		19		9	0	47.4%	
13～15 機械器具製造業		20		22		-2	0	-9.1%	
上記以外の製造業		50		57	1	-7	-1	-12.3%	-100.0%
2 鉱業		2	0	5	0	-3	0	-60.0%	
3 建設業		290	6	279	4	11	2	3.9%	50.0%
1 土木工事業		111	1	102	2	9	-1	8.8%	-50.0%
2 建築工事業		145	4	149	2	-4	2	-2.7%	100.0%
3 その他の建設業		34	1	28		6	1	21.4%	
4 運輸交通業		179	1	207	0	-28	1	-13.5%	
1 鉄道・航空機業		6		8		-2	0	-25.0%	
2 道路旅客運送業		5		23		-18	0	-78.3%	
3 道路貨物運送業		167	1	175		-8	1	-4.6%	
4 その他の運輸交通業		1		1		0	0	0.0%	
5 貨物取扱業		31	0	21	0	10	0	47.6%	
1 陸上貨物取扱業		7		9		-2	0	-22.2%	
2 港湾運送業		24		12		12	0	100.0%	
6 農林業		92	2	80	3	12	-1	15.0%	-33.3%
1 農業		41	1	36	2	5	-1	13.9%	-50.0%
2 林業		51	1	44	1	7	0	15.9%	0.0%
7 畜産・水産業		96	0	87	1	9	-1	10.3%	-100.0%
8 商業		257	1	235	0	22	1	9.4%	
1 卸売業		47	1	30		17	1	56.7%	
2 小売業		189		171		18	0	10.5%	
3 理美容業		2		3		-1	0	-33.3%	
4 その他の商業		19		31		-12	0	-38.7%	
9 金融・広告業		14	0	18	1	-4	-1	-22.2%	-100.0%
11 通信業		19	0	22	0	-3	0	-13.6%	
12 教育・研究業		16	0	14	1	2	-1	14.3%	-100.0%
13 保健衛生業		256	0	245	0	11	0	4.5%	
1 医療保健業		100		116		-16	0	-13.8%	
2 社会福祉施設		154		123		31	0	25.2%	
3 その他の保健衛生業		2		6		-4	0	-66.7%	
14 接客娯楽業		105	0	95	1	10	-1	10.5%	-100.0%
1 旅館業		28		16		12	0	75.0%	
2 飲食店		51		45		6	0	13.3%	
3 その他の接客娯楽業		26		34	1	-8	-1	-23.5%	-100.0%
上記以外の事業		131	3	120	1	11	2	9.2%	200.0%
10 映画・演劇業		0		0		0	0		
15 清掃・と畜業		76	2	65	1	11	1	16.9%	100.0%
16 官公署		2		2		0	0	0.0%	
17 その他の事業		53	1	53		0	1	0.0%	
陸上貨物運送事業（4-3-5-1）		174	1	184	0	-10	1	-5.4%	
第三次産業（8～17）		798	4	749	4	49	0	6.5%	0.0%

業種	順位	事故の型	人数	割合
全産業	1	転倒	390	21.2%
	2	墜落・転落	341	18.5%
	3	動作の反動・無理な動作	246	13.4%
	4	はさまれ・巻き込まれ	227	12.3%
	5	切れ・こすれ	129	7.0%
製造業	1	はさまれ・巻き込まれ	92	26.1%
	2	転倒	61	17.3%
	3	墜落・転落	55	15.6%
	4	切れ・こすれ	29	8.2%
	5	動作の反動・無理な動作	25	7.1%
建設業	1	墜落・転落	97	33.4%
	2	切れ・こすれ	39	13.4%
	3	はさまれ・巻き込まれ	27	9.3%
	4	転倒	26	9.0%
	5	飛来・落下	23	7.9%
陸上貨物運送事業	1	墜落・転落	55	31.6%
	2	動作の反動・無理な動作	24	13.8%
	3	転倒	21	12.1%
	4	はさまれ・巻き込まれ	19	10.9%
	5	激突	12	6.9%
林業	1	切れ・こすれ	12	23.5%
	2	激突され	10	19.6%
	3	墜落・転落	8	15.7%
	3	飛来・落下	8	15.7%
	5	崩壊・倒壊	3	5.9%
第三次産業	1	転倒	254	31.8%
	2	動作の反動・無理な動作	161	20.2%
	3	墜落・転落	97	12.2%
	4	交通事故（道路）	65	8.1%
	5	はさまれ・巻き込まれ	47	5.9%
小売業	1	転倒	56	29.6%
	2	動作の反動・無理な動作	30	15.9%
	3	墜落・転落	28	14.8%
	4	交通事故（道路）	20	10.6%
	5	はさまれ・巻き込まれ	11	5.8%
社会福祉施設	1	動作の反動・無理な動作	58	37.7%
	2	転倒	48	31.2%
	3	その他	10	6.5%
	4	墜落・転落	8	5.2%
	5	切れ・こすれ	6	3.9%
飲食店	1	転倒	14	27.5%
	2	切れ・こすれ	10	19.6%
	3	高温・低温の物との接触	9	17.6%
	4	交通事故（道路）	4	7.8%
	5	墜落・転落	3	5.9%

- ① 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込日数が4日以上の災害によるもので、死亡者数を含みます。
- ② 陸上貨物運送事業及び第三次産業は、別計。

令和元年 死亡災害事例(令和元年12月末日現在)

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	平成31年 2 月	産業廃棄物処理業	移動式クレーン 運転者	男	64	20年	激突され	移動式クレーン	被災者は朝8時頃から一人で被災現場で産業廃棄物を入れたコンテナ(総重量2.3t)を回収するため、車両積載型トラッククレーンで積込み作業を行っていた。 荷を吊り上げ、ジブを旋回させた際、機体がバランスを崩し、操作していた被災者の方へ横転し下敷きになったもの。
2	平成31年 2 月	農業	作業員・技能者	男	59	5年	飛来、落下	フォークリフト	倉庫内において、トラック荷台上のコンテナから多量のゴムの木(長さ約2m、径5cm)を降ろす作業を4人で行っていた。コンテナの一つの面の差し込み式の柵をフォークリフトで引き抜こうとしたところ、荷崩れ防止用に設置していた木がはじかれ、車両近くの地上にいた被災者の頭部を直撃した。意識不明で病院へ搬送され入院加療中であったが、17日後に急性硬膜下血腫により死亡した。被災者は保護帽を着用していなかった。
3	令和元年 5 月	製造業	販売員	男	59	20年	交通事故(道路)	トラック	顧客先に向かうためトラックを運転して片道1車線の国道を走行中、中央線をはみ出し、対向車線を走行してきた大型トラックと正面衝突したものの。
4	令和元年 5 月	林業	伐木・造林作業員	男	59	10年	激突され	立木等	山林の伐木作業現場において、午後の作業終了後、被災者の姿が見当たらないため、同僚が被災者を探したところ、伐倒されたヒノキ(樹高約19メートル、胸高直径約30センチメートル)の下敷きとなっている状態の被災者を発見した。その後、病院に搬送されたが、死亡が確認された。
5	令和元年 7 月	建設業	解体工	男	68	4ヶ月	墜落、転落	作業床、歩み板	建屋の解体工事現場において、屋外に設置された螺旋階段の撤去作業を行っていた。解体途中の螺旋階段のから墜落するおそれがあるため、9階の螺旋階段の踊り場に柵を溶接する予定としていたが、午前10時20分ごろ作業場所に被災者がいなかったことから探したところ、午前11時30分ごろ作業場所直下の1階部分(高低差約31m)にある貯水槽(水深50cm)にうつぶせの状態で見つめられた。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
6	令和元年 7 月	その他の事業	運転者	男	62	1ヶ月	交通事故(道路)	乗用車	午前3時ごろ、運転代行のため、客の車と運転代行会社の車の2台で、客宅に向かっていたところ、客の車を運転する同僚が、被災者の運転する運転代行の車についてきていないことに気がついた。そのため、同僚は被災者に連絡を取ろうとしたが取れなかった。そうしたところ、被災者の車が市電停留所のクッションドラムに衝突しているとの通報が警察によせられた。被災者は、胸部圧迫により死亡したものの。
7	令和元年 7 月	運輸交通業	運転者	男	45	9年	墜落、転落	トラック	福岡県の事業場に最大積載量13トンのトラックで鋼製の型枠材を運送する途中、駐車場に停車した際に、あおりを開いて積荷の再荷締または増締を行っていたところ、高さ約1.5メートルの荷台から転落し頭部および全身を強打した。その後、病院に搬送されたが、3日後の7月20日午前7時ごろ死亡した。転落時、被災者は保護帽を着用していなかった。
8	令和元年 8 月	建設業	土工	男	61	30年	転倒	建築物、構築物	倉庫の新設工事現場において、コンクリート基礎打設作業に従事していた労働者が、移動のため打設済みのコンクリート基礎を歩いていたところ転倒し、コンクリート基礎から突き出していた長さ70センチメートル、直径1センチメートルの鉄筋が顎から頭部に刺さったもの。保護帽は着用していた。
9	令和元年 8 月	建設業	作業員	男	70	1年	飛来・落下	荷姿の物	伐倒作業を終了し、伐倒した木と掘り起こした木の根を搬出するため、グラップルを運転して木の根をトラックの側面から荷台に積み上げていたところ、重さ約180kgの木根が約3mの高さから、積込作業箇所反対側に転がり落ちた。その際、トラックの横を歩いていた作業員の背部に木の根が激突し、死亡したものの。
10	令和元年 10 月	建設業	作業員	男	35	1年	崩壊・倒壊	地山・岩石	井戸掘削のため、直径15cm深さ150mのボーリング予定のうち75mまで掘削したところで、地中に入れたボーリングロッドを一旦引き抜いてレールに搬出し休憩に入ろうとした。その時、ボーリングマシンを設置していた箇所の約5m四方の地盤が4m程真下に陥没したため、作業員2名と事業主が、地盤とともに落下して土砂に埋もれ、作業員1名の窒息による死亡が約1時間半後に確認された。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
11	令和元年 10 月	建設業	解体工	男	37	5年	墜落、転落	屋根・はり	工場のスレート屋根の補修のため、3名の作業員が屋根上でスレートの穴あけ、ボルト締め等の作業を行っていた。3名の作業員が休憩を取ろうと声を掛け合い、それぞれの作業場所から休憩場所に移動しようとしていたところ、ドスンと音がした。確認したところ、穴の開いたスレート屋根から約8m下の工場内の床面に倒れている作業員1名が発見された。
12	令和元年 11 月	製造業	運転者	男	67	10年	はさまれ・巻き込まれ	整地・運搬・積み込み用機械	工場敷地内において、トラクターショベルに乗って作業していた労働者が、ドラグショベルに乗り換えるため、トラクターショベルを構内の隅に後進で移動させようとしたところ、近くを歩行中であった被災者に接触して右後輪で轢いたもの。
13	令和元年 11 月	清掃業	作業員	男	43	5ヶ月	はさまれ・巻き込まれ	その他の動力運搬機	ゴミ収集車で資源ゴミ(新聞や段ボール等)を運搬する作業中、ゴミ収集車のホッパーの奥に残ったゴミの破片を取り除こうとしていた。作業員がホッパー内に頭を入れたまま、同僚に回転板を上げるように指示したところ、同僚が誤って回転板を下げるボタンを押したため、首が回転板に挟まれ死亡した。
14	令和元年 11 月	建設業	作業員	男	18	8ヶ月	交通事故(道路)	その他の乗物	交差点の交通信号制御機点検作業中、青信号で横断歩道を歩行していたところ、交差点を右折してきたトラックに轢かれた。
15	令和元年 12 月	商業	作業員	男	48	20年	交通事故(道路)	不明	商品を客先に配送するため、バイクで高速道路を走行中、緩やかなカーブ付近で右側の側壁に衝突し被災した。